

受理番号	受理年月日	件 名 及 び 要 旨	提 出 者	紹介議員氏名	付 託 委員会名	議決結果
29年 第5号	29.3.6	<p>主要農作物種子法（種子法）の廃止に反対する請願</p> <p>【請願趣旨】 政府は2月10日の閣議で、稲、麦、大豆の種子の生産や普及を都道府県に義務付ける主要農作物種子法（種子法）廃止法案を閣議決定し、今国会で可決しようとしている。</p> <p>そもそも種子法の廃止は、規制改革推進会議が「民間の品種開発意欲を阻害している」として提起したもので、民間事業者が都道府県の種子や施設の提供を進め、種子の開発を活性化させるとしているが、公的機関による育種事業が後退し、種子の安定供給に支障が出かねず、民間企業の参入機会が広がることで、外資による種の独占を招く懸念がある。</p> <p>また、多くの県で公費による育種事業が展開され、地域農業振興策と一体に優良種子の開発が行われてきたが、種子法の廃止でこうした県の取り組みが維持できなくなる可能性が懸念される。</p> <p>以上の趣旨から次の事項について政府に意見書を提出するよう請願する。</p> <p>【請願理由】 主要農作物種子法を廃止しないこと。</p>	農民運動茨城県連合会 （茨城農民連） 会長 岡野 忠	山中 たい子 江尻 加那 上野 高志	農林水産	不採択